



2025年度の卒業式・学位記授与式が3月22日、東京都千代田区の日本武道館で行われた。学部卒業生4005人(うち法学部3年次生5人)、大学院修了生90人、法科大学院修了生8人が、晴れやかに学窓を飛び立った。

ニッポース専修

専修大学ホームページ

https://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行
発行所
専修大学広報課
〒101-8425
東京都千代田区
神田神保町3-8
☎03-3265-5819(直)

主なニュース

- ④ 囲碁プロ棋士・陳さんに学長賞……川崎市の梨園のレジャアプリ開発
冬季五輪、校友4人が活躍……
- ⑤ 定年退職教員……
- ⑥ 石巻専修大学 学位記授与式を挙行……
- ⑦

2025年度 卒業式・学位記授与式



謝辞を述べた鈴木さん

式では、馬場杉夫学長が、学部、大学院、法科大学院の各総代に学位記を授与。学術、体育などで優れた成績を収めた学生に与えられる川島記念賞には48人が選ばれた。

馬場学長は式辞で「目標を掲げ挑戦し続けた経験こそ皆さんを大きく成長させた。今こそ学んだ力を生かし、『社会知性の開発』を実践する時」と激励した。

祝辞で松木健一理事長は大学での努力をたたえ、日高義博総長は専修人としてのこれからの活躍に期待を寄せた。

卒業生・修了生を代表して鈴木優珠輝さん(法)が謝辞を述べた。鈴木さんは「過去の自分は他者との比較にとらわれていたが、幸せは他者ではなく自分が決めるもの。自分らしく頑張ろうと決意したら視野が広がり、今はこの4年の日々は幸せだったと胸を張って言える」と大学生活を振り返った。そして「これから先も逆境に負けず、それぞれの道で自分らしく、幸せになりましょう」と卒業生・修了生に呼びかけた。



体育賞総代としてあいさつした甲斐さん

また、川島記念体育賞総代の甲斐

優斗さん(経営・バレーボール部)が受賞者を代表してあいさつ。自身はプロとして、学友には社会人として、活躍していくことを誓った。

来賓の桃野直樹校友会長と、宮田昇始さん(平19経営)が祝辞を述べた。桃野会長は「自信と誇りをもって、これからの人生を力強く歩んでほしい」とはなむけの言葉を贈った。起業家である宮田さんは「打席に立ったらバットを振れ」という人生訓を引き「社会に出たらいつ打席に立ったか分からないことがほとんど。準備が完璧でなくてもいい、チャンスがきたら、思いきりバットを振ろう」と語りかけた。

学位記交付は学科・専攻ごとに、神田キャンパスで行われた。学びの集大成である学位記を手にした卒業生・修了生は晴れやかな表情で、恩師や同級生と思いを語り合っていた。

式の3日前に開花が宣言された会場の周囲では桜がほころび始め、お祝いムードを高めた。また、暖かな日曜日とあって、多くのご父母・保護者が訪れ門出を祝った。

(2面に式辞・祝辞要旨、3面に川島記念賞受賞者)

写真特集 2026.3.22 卒業式・学位記授与式

